

逆転ノ発想

逆転ノ発想:身近な話題から世界情勢まであらゆる角度から斬る！！

Vol. 41～50
2010年3月5日～
2010年5月13日



Vol.41	<u>強化費</u>
Vol.42	<u>麻薬</u>
Vol.43	<u>固定資産税</u>
Vol.44	<u>減反</u>
Vol.45	<u>工場</u>
Vol.46	<u>追悼</u>
Vol.47	<u>研修</u>
Vol.48	<u>リスク</u>
Vol.49	<u>スタック・ヘイヴン</u>
Vol.50	<u>若い</u>

強化費

バンクーバーオリンピックが終わり、頑張った選手たちが続々帰国！！

メダルを期待されていた選手、されていなかったがメダルを取れた選手、大会前と後では、メディアの扱いが全く違う...

メダルの数ばかり争いの対象にして、充分競技の実態も分っていないのにメダルの数を予想する.....

今こそ、大会前に無責任予想や発言をした者の検証をすべきだ！！

また、メダルの数が少ないのは ” 予算(強化費)が少ないから！！ ” と薄っぺらな発言をする ” コメンテーター ” (あらゆる分野に口を出す)

” あなたの専門分野は何ですか?? ”

予算が少ない以前に『分配』の仕方が悪いのです！！

では、分配しているのは???

【JOC】

日本オリンピック委員会.....国際オリンピック委員会(IOC)に承認された日本の国内オリンピック委員会。オリンピック競技大会やアジア大会などの国際総合競技大会への選手派遣業務を行う。

【役員】

今回のバンクーバーオリンピック 日本選手団は総勢 205人！！

その内、『純粋な選手』は.....半分以上の 94人！！

残りの 111人は、コーチや医師と ” JOC の役員とスタッフ ”

JOCの関係者が大挙して現地入りする為、選手を手塩にかけて育てたコーチやトレーナーがはじき出され、選手に快適な環境が提供されていない。

くだらない役員が行くより、選手の両親を招待してあげた方が、よほど良い結果が得られるのでは！！

【強化費】

今回のオリンピックにより、世界各国との『強化費』の違いが金額のみクローズアップされているが、日本の場合、仮に強化費が増額されても.....

まず「国から JOC」にわたり、JOCの独断で個人やチームにではなく、『所属する競技団体』に支給される！！

その分配には、各競技団体のトップにおさまる『国会議員の政治力』がモノを言う仕組み！！

ちなみに、大本のJOCにも理事として「森 元総理」(日本ラグビーフットボール協会 会長)や「橋本聖子参議院議員」(日本スケート連盟 会長)、日本陸連には、河野洋平氏、そして、協会内の派閥や内紛で悪名高い我が「日本バスケット協会」の会長には「麻生 太郎 元総理」が鎮座しております！！

JOCの力を象徴するかのごとく、加盟団体のほとんどは渋谷区神南の「岸記念体育会館」に入っております。

各競技団体が強化費を、どの様に使っているかも不透明...

以前、日本スケート連盟の元会長が資金を私的流用し事件となったが、少ない予算の上に、” 得体の知れない連中 ” が群がり、本来選手に行くべき強化費を” 無駄に使っている！！ ”

正に ” 日本の 官僚社会 !! ”

天下りの構造が、” スポーツの分野 ” にも完璧に行き渡っている！！

” 恐るべし 官僚 ”

以前、コラムにも書いたが、『東京都がオリンピック招致にかけた費用 100億

円!!!』が、選手やチームに直接渡っていたら..... もっと メダルが...



【金メダル級】

今回のオリンピックでは残念ながら、金メダルの獲得は出来なかったが、同時期、『金メダル級』の快挙のニュースが！！

” 宮里 藍 米女子ツアー 開幕 2連勝 !! ”

44年ぶり、5人目の大記録！！
女子ゴルフを人気スポーツに押し上げた 立役者！！
(私も実は、昔から大ファン！ 偶然ですが娘の名前が同じ)

高校生でツアー初優勝し、その後 破竹の勢いで優勝を重ね、一気に トッププロ ！！
そして勢いのあるまま アメリカへ ！！ 早々優勝を期待されたが、.....

スイング改造と予期せぬヒザ裏の故障から 大スランプに...
その際は、ゴルフの技術以上に『メンタル』の問題が大きかったと。
(勿論、メンタル力も一流選手の技術の一つですが)

そこで、『プロゴルフ界の女王 アニカ・ソレンスタム』を育て上げたコーチの指導を仰ぎ、
強化された ”メンタル” を手に今回の活躍へとつなげた！！

【女王】

ここで、『女王 アニカ・ソレンスタム』を知らない方へ

1970年10月生まれ(私より年下)、
LPGAツアー 72勝、メジャー通算 10勝、賞金女王通算 8度、2002年には年間 11
勝、
2003年に 世界ゴルフ殿堂入り、2008年シーズンをもって 引退。

正に、歴史に残る 偉大なプレーヤー ！！ (やはり大ファンです)

そのアニカ・ソレンスタムが、ゴルフのプレーで大切にしていることについて、

『いいスコアを出すには、集中力とエネルギーを18ホールに渡って持続しなければいけません。神経を過敏に保つ一つの方法が、ショットの間は休むということです。ボールに向かって歩いている時は、同伴プレイヤーと映画や野球のことを話す。あるいは、自分ひとりで鼻歌でも歌ってみる。ゴルフから離れる時間を作ることで、精神的に疲労しないようにするのが目的です。』 と

” リラックスが 成功を導く...?? ”

肝心な場面で、最高の集中力・パフォーマンスを得る為に、『気分転換』を効果的にを行い、その後の英気を養う！！

最新の『メンタル理論』の傾向として、オフタイムの『回復』が注目されているそうです！！

” オフタイムに充分回復できない人間は、肝心の仕事(場面)で力を発揮できない ” と

一生懸命頑張ることは、とても大事だが、時には手を休め気分転換して回復に努める事も重要！！
精神的・身体的エネルギーを使い切る前に、貯蓄する時間が必要だと！！

” 日々の生活に メリハリをつける ”

自分は幸いにして、趣味も多く、“オフタイムの充実” が、今の生活に『彩り』を与えてくれている。

” 今を 無駄にしないように！！ ”

オフタイムの強化費を考える前に、オフタイムばかりに気をとられ、仕事が疎かにならないよう

” 心を 強化します！！ ”

麻 薬

また一人逮捕された...

覚せい剤取締法違反で、人気バンド「JAYWALK」のボーカルが... (59歳にもなって)

私たちの年代だと、カラオケに行くと良く歌われる 「何も言えなくて...夏」(聴けばわかる) ippsoの事、**『何も 言い訳 言えなくて...薬』**でもリリースしろと言いたくなる。

ここ数年、芸能界の**薬物汚染**が取り立たされている。

ここで、改めて 世界と日本の麻薬事情を調べてみた。
(財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターなどを元に)

【麻薬】

意外に認識されていないが、日本には**『麻薬全般』**を取り締まる法律が無い！！

以下の**『薬物四法』**と国際的に定められた麻薬に対応する**『麻薬特例法』**によって禁止行為や処罰が定められている。

【薬物四法】

・覚せい剤取締法	(1951年)・・・対象薬物	覚せい剤
・大麻取締法	(1948年)・・・対象薬物	大麻および大麻から製造された薬品
・あへん法	(1954年)・・・対象薬物	アヘン、ケシ、ケシガラ
・麻薬及び向精神薬取締法(1953年)・・・対象薬物		ヘロイン、コカイン、MDMAなど

こうした個別法制になっているのは、薬物の特性に応じた、処罰や禁止行為が定められているからである。

【大麻】

「ハンプ」、 「クサ」、 「ハーブ」など、これらは大麻を表す**『隠語』**

クワ科の一年草で中央アジア原産の植物

心拍数が**50%**も増加し、これが原因となって様々な脳障害、意識障害、幻覚、妄想、記憶力の低下などを引き起こす。

法律での扱いは国によって様々で、個人の使用に関しては、“**大目に見る国**”が多い。宗教上の戒律で、“**アルコールを禁止**”しているイスラム諸国では、代わりに大麻が庶民の**『嗜好品』**となっていたりする。

【MDMA】

最近日本で爆発的に広がりつつある合成麻薬。

一般的には、錠剤の形で流通。

1912年にドイツで発見され、“**ダイエット薬**”として売られていた。

摂取から1時間で、酩酊感が現れ、3~4時間その状態が続く。

聴覚が鋭くなることから、“**クラブシーン**”での流行が目立つ (酒井法子を思い出す)

オーバードーズ(過剰摂取)は、**突然死の危険性**がある。

【覚せい剤】

メタンフェタミンの有する覚醒作用から名づけられたもの。

水に溶かして静脈に注射したり、炙った煙を吸ったり、細かく砕いて鼻から吸い込む等して摂取。

気分が高揚して、疲れを感じなくなるのが特徴。

かなり依存性が高く、一度やったらやめられなくなる危険な薬物で、故に覚せい剤事犯の特徴として

再犯者の比率が高く、“**検挙人員の半数以上**”が、**『再犯者』**である！！

また、密売によって得られる利益が莫大である為、“**暴力団**”が深く関与しており、**検挙人員の半数以上**が、**暴力団関係者**で占められている。

【コカイン】

アメリカを最も悩ませる麻薬！！

南米原産のコカの葉から精製される半合成薬物。

主に鼻から吸い込む形で摂取。ごく少量でも生命に危険な薬物。

最大の生産国は、“**南米コロンビア**”で、一説には**『世界需要の 80%』**をまかなっている。

コカインの多幸感は一時的だが、効き目も短く15分程度だと言われ、それ故、常習者をうみやすい。

コカインは、脈拍や心拍をコントロールする脳の機能を破壊するので、“**死を招くこともある**”



【ヘロイン】

『ケシ』の実から集めた乳液状のものを乾燥させたのが、『アヘン』
そこから精製抽出されるのが『モルヒネ』、その純度を高めたのが『ヘロイン』となる。

1847年にイギリスの化学者によって、モルヒネから初めて合成された。
その後、ドイツの製薬会社が『ヘロイン』と言う“**販売名**”で**咳止め薬**として発売したものである。
日本でも戦前までは『医薬品』として使用されていた。

原料となる『ケシ』の世界最大の生産国は“**アフガニスタン**”で、**75%**を生産していると。
強烈な依存性から“**キングオブドラッグ**”と言われ、ちょっとでも手を出そうものなら、
直ぐに常習者となってしまう。
覚せい剤やコカインは気分が高揚し、活動的になるのに比べ、ヘロインを摂取すると“**何もしたくなくなる**”
ただ襲ってくる強烈な酩酊感に酔いしれるだけ。だが、禁断症状も強烈であまりのつらさに気絶する者もいるという。

以上が、代表的な薬物で、これ以外にも『**有機溶剤**…**シンナー**』などがあげられる。

【世界では】

国によって事情は様々

日本は、不名誉ながら、“**世界一の覚せい剤消費大国**”（使用者は160万人とも）

イギリスは、大麻の個人所持辞退は取り締まりの対象となっていなかったが、2009年より取締りの対象に。

オランダは“**特別**”。大麻はコーヒーショップで容易に入手できる。ソフトドラッグ 5グラムまでの個人所持は取り締まりの対象とならない。

ミャンマーは『**黄金の三角地帯**』（ケシを大量に栽培している地域で、**麻薬王** **クン・サ**が仕切っていた）に隣接し、ヘロインの密造が、**軍事政権の資金源**になっていると言われる。

インドは、所持も使用も違法だが、使用者は多く、近年密輸未遂や所持で逮捕される日本人が増加。

トルコは、アフガニスタンと『**最大消費地のヨーロッパ**』の中継点に位置する為、ヘロインの加工工場が多くあるとされる。

などなど

【今出来ること】

世界各地で、薬物汚染が進み、社会問題化している…

そんな中、いまだ日本は、12歳以上を対象として調査した、“**違法薬物の生涯経験率は3%**”

（調査統計のある国の中では、**世界第一位と極めて低い**）

アメリカに至っては、**ナント 46%** の経験率…国民の半数近くという結果 恐ろしい…

薬物が広がってしまう前に、何が出来るのか、……

問題が起きてからではなく、問題が起こらないように『**準備すること**』

ビジネスにおいても、“**とても重要な認識**”

人を“**不幸にするビジネス**”などあってはならない！！
それは、ビジネスではなく **当然犯罪だ！！** 正々堂々発言できる環境が必要だ！！

ごく身近にある 『**誘惑**』『**危険**』『**犯罪**』！！

巻き込まれないように、**強い自覚とモラルが必要！！**

不況の今、「**他人のせい**」、「**会社のせい**」、「**世の中のせい**」、「**政治のせい**と

”**逃げのスタンス??**”……巻き込まれる『**危険大！！**』です。

『**強い意志**』と『**正しい心**』を、日々大事にしたいものです！！

固定資産税

このところの異常な気温の変化...

前日と10℃以上も違う日が... 今日のコートが必要??

体調維持を、気にしながらの毎日!! 桜の開花予想...今年は何??

3月から4月へと、ある意味一年のうちで “一番忙しい” また “変化のある” 時期

学生さんなら 卒業・入学・進級と!!

新社会人の 初々しいスーツ姿!!

転勤や配置転換などなど 環境の変化が著しい “新しい年度の始まり!!”

自分は4月が誕生日の為、年齢と年度の変化を強く感じる。

むしろ正月より “今年も頑張ろう” と強く思う!!

晴れ晴れとした “頑張ろうと” と同時に “頑張らなければ” と思うこの時期...何故??

そう!! “お金がかかる” 何かと.....

子供がいっぱいの方なら...間違いなく うんうん

車をお持ちの方なら 自動車税デース!!

さらに不動産をお持ちの方は **固定資産税と都市計画税**が “ドッカーン”ときます。 厳しい!!

自分も10年程前に家を建ててから、毎年『固定資産税』と戦っております!!

それで無くとも、ボチボチ家の手直しに費用がかかるのに...

今、この**固定資産税の問題**が 『中国』で!!

【中国】

ニュースやメディアでは、今 中国は “不動産バブル” では??

世界最大の不動産コンサルティング会社「Cushman & Wakefield」の報告によると

昨年の中国の不動産投資額は、2倍に増加し、**過去最高の 1562億ドル**に!!

一方、アメリカの不動産投資額は、64%減の **383億ドル**にすぎなかった...

中国はアメリカに代わり、 『世界最大の不動産投資市場』となった!!

中国最大の不動産会社(世界最大です)『万科』の 王石董事長は

“あと5年で不動産会社の世界トップ10を、全て中国企業が独占する” と自信満々のコメント!!

(日本でも似たような時代があったな... 昔々)

しかし、待てよー 中国って基本的に未だ “社会主義国” 土地の所有って出来るのか??

【土地使用権】

中国の土地の所有形態は原則として 『国家所有』か 『集団所有(農村部)』に属し、日本のような、個人・企業による**土地の私有(所有権)**は無い!!

1990年になって、経済活動に大きな影響を及ぼす都市部の国有地は改革開放の進展により 『有償、期限付きの**土地使用権**』という形に変換された。

では、 『土地使用権』とは??

法律が許す範囲内で、国家または地方自治体が所有している土地を “占有・使用・収益できる**権利**”

居住用 70年、工業用 50年、商業・娯楽・観光用地 40年、教育・科学技術・文化・体育用地 50年、というように、用途ごとに 『**使用権の期限**』が設けられ、 “公共の用に供さない限り **更新可**”

(更新料を支払えば、永続的に所有可能)

その権利は、譲渡等の形で民間人・民間企業に取得させることが出来る。

また、その権利は、譲渡、賃貸、抵当権の設定が可能である。



【地価】

日本で“不動産価格が上がる”“地価が上がる”とは完全所有権である『土地の価格』
中国では前述のように、完全所有権は国家が保有するものなので、市場での『地価』とは、“**土地使用権の価格である！！**”

この地価を表す方法が、2種類ある！！

一つは、『**地面地価**』で地面一平米あたりの地価の単価

もう一つは、『**楼面地価**』といい、容積率 100%あたりの地価で“楼面単価が4000元”
というような使い方

(日本の不動産業界では、1種(いっしゅ)いくら？と言われます。デベロッパーの方が良く使う)

中国では、日本のように用途地域が分けられ、エリアで容積率や建蔽率が設定されているのは違って、払い下げられる土地の『**画地ごと**』に行政が決定する！！

(ずこー まさに役人天国！！官僚天国！！おもいきり癒着してぞう！！)

また、中国ではマンション形式でない一戸建ての高級住宅を『**別荘**』と呼ぶ！！

その別荘の最高販売単価が、先般更新されたと...

その価格 **9100万元** (約12億円！！)

延べ床面積は、約471平米 平米単価 193,083元

(中国では、日本のように地価の平米いくらより、住宅の床面積について比較が行われている！！)ちなみに日本なら坪単価...

471平米...約142.5坪 坪あたり **842万円** (土地使用権いくらだろう?)

不動産価格の高騰が進む中国！！ このままでは庶民が買えなくなる.....

【物業税】

中国政府は、不動産価格を抑制する目的で『**物業税**』(日本の**固定資産税**)の導入を検討している！！

中国では、現状自分の住宅資産を持つ人は、“自分で住む”か“空家”にしておく限り、いわゆる**固定資産税を払うことが無い！！**

つまり、“**資産保有に関する納税意識が無い**”のだ！！

不動産に関する税は、売買に伴って支払うものであり、賃貸に出した場合以外は保有している資産に**税金がかからない！！**

故に、都市部の富裕層が何戸もマンションを保有し、キャピタルゲイン狙いで空家のまま保有している。

『物業税』の導入は、こうした“**投機行動の抑制**”を目的としている！！

この税の導入をめぐり、中国の大富豪は“反対の大合唱！！”

今や富裕層は中央政府に対して、強い政治的影響力があり、当面は**混乱が続くと見られている...**

【税金】

世界不況から、いち早く回復しつつある **中国経済！！**

それに比べ、停滞が続く日本経済... いつまで続く...

突破口は何処にあるのだろうか？？...

今の日本の財政状況では、当然近いうちに『**増税**』をしなくてはならないだろう。

消費税アップなのか？ 新しい名目の税金か？？

覚悟が 出来ているような... 出来ていないような...

景気が悪いせいなのか、皆リターンばかりを求めているような.....

マスコミは、政治家のつまらない揚げ足取りばかりしないで、税金の使われ方にもっと注目してほしい！！

国民に“**エコだ！！ エコだ！！**”と求める以前に

政府・政治家・役人が、まず“**エコを実践してほしい！！**” (存在が無駄な人も...)

間もなく『**事業仕分けの第2弾**』が始まる！！

今回もどんな無駄が公になるのだろう.....??

(予想以上の酷い実態がありそうだ)

是非、期待したいものだ！！ **国民の為に頑張ってください！！**

自分も会社から“このコラム無駄！！”と判断されないように.....努力します。

減 反

支持率低下に悩む 鳩山政権...

先日、一般会計総額 **92兆2,992億円** と過去最大となった『平成22年度予算』が可決、成立した。

子ども手当法案や、高校無償化法案の年度内成立も図り、夏の参院選に向けて実績をアピールしたいのだろう。

そんな鳩山政権の政策の中で、一部では、“バラマキの代表”だと揶揄される**農家への『戸別所得補償』制度**が始まる。

これは、農家が生産にかけたコストより、安くしか売れなかった場合、(例えば100万円のコストで米を生産、60万円で販売した場合、40万円補助される)その差額を、政府が農家に補助するという制度

2010年度は、**5,600億円**の税金が使われる。

.....??

この政策、どう考えても “**農業の衰退**” を招くのでは.....

過去を見ると、政府が保護した業界、業種は、皆弱くなっている。世界的な競争力の低下が著しい...

日本の農業人口の6割は65歳以上という、『**超高齢化**』が進んでおり、『**耕作放棄地**』が全国で39万ヘクタールと、埼玉県の面積に匹敵する広さに.....

何とかしなくては.....

【自由化】

直近の『**農村票**』目当ての選挙対策的な、政策ではなく、今こそ、おもいだした『**農業の自由化**』が必要では？

不動産業の立場から見て、現在、基本的に農家しか農地を所有出来ず、農地の転用、売買も厳しく制限されている。

まずは、こうした規制を緩和、撤廃して、『**農地の解放**』を進めるべきと思う。

また、今回のバラマキ政策にあわせて、“**農業を衰退させた諸悪の根源**”である

『**減反政策の撤廃**』をするべきだ！！

【価格】

“減反政策をやめたら、コメの生産量が増えて、価格が下落し、日本のコメ農業は大きなダメージを被る”

これ本当??

今、減反面積は **110万ヘクタール！！**
なのに、価格は下落傾向が続いている.....

何故??

コメは主食として、**価格が高すぎる！！**

国内の麦価と比較しても高く、国際価格と比較すると、かなり高い。小麦と比べて高いことが、“**国民のコメ離れ**”を促している。又、コメを輸出しても、一部のブランド米以外は、日本のコメに**国際競争力はない...**

この“**中途半端なコメの価格を形成**”してきた原因は、

正に “**減反政策という名のカルテル**”

誰が悪い.....



【農・自・農】

減反政策に大きくかかわってきた、“**3 組織**”

まず、**農協！！**（*農業コングロマリットの既得権の死守*）

農協は、多くの組合員に農薬、肥料、農業機械などの資材を売り、
コメなどの生産物の流通を支配することによって、利益を得ている。

自由化が進み、大規模経営農家が増え、零細農家が減ることは、農協にとって死活問題である。

第2に、**自民党！！**

自民党にとって、農協に組織化された農家は、重要な **集票基盤！！**
自民党は“**産業としての農業の未来**”より、農家の**戸数維持**が重要。

第3は、**農水省！！**

農家の戸数は、農水省にとっても予算獲得における、**パワーの源！！**

でたらめな政策により、**食糧自給率が、先進国で最も低くなってしまった日本...**

今求められているのは、農家数の維持ではなく、“**農業生産**”をこれ以上減らさないことだ！！

【強み】

農業に競争原理を！！

今の日本の農業にも、強みが.....

稲作では、単位面積当たりの収穫量で世界有数！！

福岡県産のイチゴ『あまおう』は、モスクワで1パック 7,000から8,000円で売られている！！

オレンジや牛肉の輸入自由化により、むしろ、日本のみかんや牛肉(ブランド牛)は、**高付加価値化し、競争力UP！！**

やればできる！！

【危機】

今、日本の人口は減っているが、世界では**100億人**に向かって増え続けている。

間違いなく“**食糧危機**”が訪れる！！

こんなデータがある

地球温暖化により、熱帯や亜熱帯地域の農業地域では、生産期の平均気温が上がり、トウモロコシやコムなどの生産量が、**20%から40%減少**する恐れがあり、その影響で世界人口の約半分の“**30億人**”が、『**食糧危機に直面**』する可能性がある.....

【既に】

国連食糧農業機関が発表した 2008年の『**世界の飢餓状況**』の報告書では、世界的な食料価格の高騰などで、十分な栄養が取れない人口は、2007年より、4,000万人増えて“**9億6,300万人**”に達したと.....

さらに、世界的な金融危機により、特に途上国の農業投資が減少し、2009年の飢餓人口は、さらに増えていると、言われている。



【チャンス】

待ったなしの ” 世界の食糧事情！！ ”

技術の国.....日本！！ これ以上ないチャンスが.....

戸別補償も良いかもしれませんが、同時に大胆な『農業の自由化・活性化』を進めたい。

需要はありあまる程！！ 将来性のあるビジネス！！

この分野に投資を集め、技術の進歩により、生産性を高める！！

小さい国土と言いながら、使わせてもらえない土地が 110万ヘクタール

..... 頭にくる！！

いつしか、日本が農産物の ” 輸出大国に！！ ”

夢は広がるけど.....今いる政治家ではムリかな？

目先のことばかり考えず、将来を見据えた判断をしたい。

10年後の自分.....??

楽しみも、不安も.....今から準備しなくては.....

進じますよ！！ 私もコメも！！

ただ、このコラムのネタ “危機的状況です！！”

工場

気持ち新たに ” 新年度 ”

昨年度に出来たこと、出来なかったこと.....

学生には成績表、会社には実績が残る
”満足できた” いや ”不満が残った” などなど

何はともあれ 気分一新！！

過ぎてしまった事を、あれこれと考えるより、新しい年度に期待を持って ” 突き進みたい ”
ものだ！！

自分も経営側の端くれとして、3月中は ”ストレス全開！！”だったが、
4月に入ると、ほんの僅かな安息の日々..... でもないか...

何か変化がましい....

【RUN】

久しぶりの ” 朝の ランニング ”

昨年のフルマラソンのレースで傷めた 『膝の故障』が思いのほか 強 敵！！ (世間では重症?)

しばらくの間は、スポーツクラブのマシンの上で、ハムスターのように長い距離を走っていた！！

平らな所であれば、あまり痛みが出ないのだが、起伏の激しいロードコースは膝は ”よろしくない！！”

充分以上のストレッチの後、いつもの13キロ弱のコースへ！！

何とも気持ちが良いし、清々しい！！

途中、満開の 『菜の花畑』を通過して季節を満喫！！

(あまりに綺麗なので場所紹介)

http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/green/shiminnomori/shimin_oiwak

もったいぶってる気は無いが、当然 今は 『桜』の季節！！

ランニングコースには、関東でも有数な ” 桜の名所 ” がある。(テレビで良く紹介されま

す！！)

そこを楽しみかと思っていたが、その途中にも

” いたるところに 『桜の木』 ”

本当に、日本には桜の木が多いと ” 気づく ”

こんなにあったのか...

いつ...誰が...などと つい考えてしまう。

【意識】

ピンクの花を咲かせるまでは、完全に ”見逃している”

改めて意識しないと、”気づかないこと” は、本当に多い！！

そんな改めて意識しないと、分らないもの一つに

『工場』がある！！

ハアー 工場って...と思うかもしれないが、『工場』と一括りに ”表現” されているが、

” あなたの 工場って、何工場 ?? ” ” どんな イメージ?? ”



【工場】

走っているコースの中にも、自分の認識の中の工場が、いくつもある！！
多分、“作っているもの” “やっていること” 全て違うのだけど..... 全て 工場！！

自分が工場という “言葉” でイメージピッタリなのが

” 鉄で 何か 造っている所 ”かな??
(調べてないから分らないが、そんな工場むしろ少なかったりして...)

『工場』といっても “多種多様”

ちなみに辞書には、
「一定の機械・器具を設備し、継続的に物品の製造や加工などを行う所。またその建物」

自動車を造る工場、家電製品を組み立てる工場、最近改めて注目された
” 中国の ゴーザ工場 ” などなど

日頃 見ている工場は、一体 “何工場 なのか??”

【植物】

『植物工場』 知ってますか??

最近、農業の効率化を図る方策として、テレビなどで推奨されている。

『植物工場』とは (出来るだけ簡単に!!)

環境及び生育のモニタリングを基礎として、高度な環境制御を行うことにより、野菜等の “植物の周年・計画生産” が可能な栽培施設。

植物工場には、閉鎖環境で太陽光を用いずに栽培する『完全人工光型』と
温室等において、太陽光の利用を基本とし、人工光による補光や、夏季の高温抑制技術等を用いて栽培する『太陽光利用型』がある。

『植物工場』の展開により、 “期待される効果や利点” として、

- ・季節、天候に左右されずに安定供給が可能
- ・地域や土地を選ばない
- ・単位面積当たりの高い生産性
- ・地域の雇用と所得の確保 (閑散期も含めた周年雇用)
- ・異業種からの参入
- ・経験や勘だけに頼らないサイエンスに基づく農業 などなど

うん うん なかなか興味深い!!

全国には実験的なものも含め、かなりの数の植物工場が既に存在する。

【障壁】

だが、現実的にはクリアしなければならない “課題が多数”

根本的な部分で

- ・人工光は光が弱い (真夏の太陽光は10万ルクス、真冬でも5万ルクスあるが、蛍光灯の明るい 室内でも2千ルクス程度、故に人工光で育てられるのは、暗いところでも育つレタスなど)
- ・設置コスト、運営コストが莫大
- ・植物の生育スピードは最速でも20日間 (工場は製造スピードを上げることで効率化出来るの だが、生理学的限界の為、製造日数を短縮化できない)
- ・植物は動かせない (植物の根は動かすと簡単に傷んでしまい、生育が悪くなる。工場が効率的なのは、製造物がラインの上を流れて、人間や機械が場所を移動せずに済み、同じ作業を繰り返すことにある。)
- ・農産物は基本的に安くないと売れない (旬な時期の露地栽培物や、温室野菜に価格面で太刀打ち出来ない)

ここからは、『不動産業』の立場から

- ・「農業」を行う「工場」の為、企業立地制度等における取扱が “未整理”
(非農地に整備する植物工場であっても、業種はあくまでも『農業』)



ここからは、『不動産業』の立場から

・「農業」を行う「工場」の為、企業立地制度等における取扱が ” 未整理 ”
(非農地に整備する植物工場であっても、業種はあくまでも『農業』)

例として、

- ・企業立地促進制度の対象業種に該当しないと判断される恐れが。
- ・地方自治体の担当部署が、農業担当か商工担当か？
- ・建築基準法により、用途地域において、「工場」としての立地制限を受けてしまう恐れが。

やはり普及には ” まだまだ 課題が多い 現実..... ”

【進歩】

だが、しかし世の中の技術が10年前、20年前と比べると、“**飛躍的に発達**”し、**総合科学産業**である『農業』の分野において、様々な技術が応用できるレベルに達している！！

日本の農業技術は、世界的に見ても “**高い水準**” にあることから、比較的早い時期に一部の品種においては、

” **植物工場産** ” が一般的になるかも知れない？

【将来】

ビジネスにおいて ” **重要な** ”
『**需要予測**』 『**コスト**』 『**競合他社**』

最先端を走る者！！ 原点を見直し、工夫する者！！

様々なアプローチがあるが、基本は...

” **立ち止まらないこと** ”

夢や目標に向かって！！

日々知恵を使い ” **成長・進化を遂げたいものだ！！** ”

将来、植物工場の中で ” **桜の花見が...??** ”

それだけに、遠慮したいなー.....

追悼

残念.....本当に残念

巨人の木村拓也コーチが亡くなりました。

37歳という若さで、当然自分より若く、お子さんも3人いる。

”グラウンドの上で死ねたら本望”というセリフ

現実には悲し過ぎるし、辛過ぎる。

選手から指導者に

原監督から『日本一、いや世界一のノッカーになろう』と言われ
指導者として一歩目を踏み出した矢先...

そのノックの最中、バットを握りしめたまま、倒れた。

多くのファンの願いは、再び彼の姿を見ることは出来なくなった。

【万能】

彼は選手時代、投手以外(高校時代に投手の経験も)
全てのポジションを守れる上に、スイッチヒッターという、とても器用な選手だった

”球界きってのユーティリティープレイヤー！！”

『ユーティリティープレイヤー』とは？

スポーツ、特に球技において、1人でいくつものポジションをこなす選手
『便利屋』と呼ばれることも。

レギュラーの故障や、長期連戦途中の休養による穴を埋める役目を
果たすことが出来る為、重宝される。

【必然】

木村コーチは、ユーティリティープレイヤーやスイッチヒッターに
なりたいくて、なったわけでもない。

高校時代、通算35本のホームランを打ち、**挿手で4番バッター**

当然、地元のスーパースター！！にも関わらず
ドラフト指名されず、何とか日本ハムファイターズにドラフト外で入団したものの、
プロのスピードについて行けず、
入団2ヶ月で新聞に『任意引退選手』と出てしまう

そんな最悪の事態.....

一軍に外野手のけが人が出て

『試合に使ってもらえるなら、外野手に』と 猛練習！！

広島カープにトレード後、成績が残せず、クビを逃れる為

『引退間近なベテランが守っていた、二塁手に』目を付け 猛練習！！

打撃はもともと右で、右投手が出てくると代えられた。

(右投手には左バッター、左投手には右バッターが有利とされる)

『どうすれば、代えられないようにできるか』と考え、

左打席でも打てる、スイッチヒッターへと 猛練習！！ をされたと.....

【必要】

”自分が生きていくために必要”

”こうやるしか思いつかなかった”

と語っている。



また

” どうやったら生きていけるか ”
” レギュラーになる、エースになるだけではない ”
” それでも、この世界で食べていける ”

チームに ” 必要 ” とされる為に、.....

【総業】

自分の職業としての『プロ野球選手』

その世界で、一番得意だった事がうまくいかない、そんな時.....

他の選手が持っていない『スキル』『付加価値』を身につける。

職業『会社員』の場合、

入社前は、

自分なら ” 何とかなるだろう ”

学生時代、サッカー部のキャプテンだったし、営業でNO. 1 / 1 になることだって

入社後は、

” あの上司の下だったら、もっと活躍出来るはず ”

” あんな部下がいいたら、自分だって ”

” あの店舗なら ”

” この業務は自分に向いていない ”

” あの業務だったら ”

” 時代にあってはいない ”

” 待遇が悪いから..... ”

そんな自分勝手な『逆境』が訪れる。

生き残るのか？ 立ち去るのか？

【積み重ね】

木村コーチのように

” どうやったら生きていけるのか ”

” それでもこの会社で食べていける ” と思える 突破口は？

プロ野球選手としては、身体も小さく、能力的にも特別優れたものがなく、

” すぐに田舎に帰ることになるだろう ”

と思っていた彼が、プロに入って9年間、試行錯誤しながら

『生きる場所』『必要とされるスキル』を追い求め、

努力に努力を重ね、10年目に136試合フル出場を果たす！！

プロ野球の選手としての平均寿命が8・9年の中で.....

職業人として、尊敬し、見習いたいところがいっぱいある。

選手として19年間、指導者として.....

本当に惜まれる...

彼は、プロ野球の新人研修の講演の最後に

『一番得意だった事がうまくいかない。それもプロ野球。』

その時にあきらめるのではなく、自分の話を思い出してほしい。

投げ出す前に、自分自身を知って、可能性を探るのも必要ではないか？

と結んでいる。

悲しみとともに ” 今、出来るベストを尽くす ”

そんな気持ちになった。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

研 修

昨日、一昨日と、弊社の年に一度の ” 方針会 ”
世間で言うところの研修会、研修旅行といった感じ。

初日は研修室で、緊張感タップリの ” 濃厚な時間 ”
皆の前で発言することの難しさ・・・
思っていた事、考えていた事、更に 上手く伝えたい.....

どんどんどんどん、自分のハードルが上がっていく。

” 限られた時間で自分を表現する ”

簡単に出来は出来ない、日々意識して言葉に出す訓練をしなくては...

お客さんの前では流暢に営業トークを ” 炸裂 ” させても
役員の前では ” たどたどしい日本語 ”

こんな筈では.....

【一騎当千】

『一騎当千』という言葉

語源は、*高い能力をもつ人の例え。*

一人の騎馬武者が、千人の兵にも匹敵するほどの働きがあること。
強い人や、能力の高い人の例えとして使われる。
日本の古典『太平記』にも出てくる言葉。

鉄砲軍団を作った織田信長が、
武田信玄の率いる、当時最強と呼ばれていた騎馬武者軍団を、
長篠の戦いで勝利するまでは、ひとりの立派な騎馬武者は、
足軽兵隊の何人分もの働きをした。

それほどまでに騎馬武者は強かったわけで、
そのもの ずまり！！『一騎当千』の働きをしたと思われる。

【企業】

今の時代、企業ではますます社員に『一騎当千』の働きを求める！！

その為には、人材育成や組織の活性化は **必要不可欠！！**（研修会もその一環）
が、しかし、それ以上に ” **新しい道具や武器** ” を持たせることが重要、且つ、一番効果的 だと思う。

” **最強軍団にするために、最先端の道具を与える** ”

なかなか難しい.....

【武器】

最強の騎馬武者軍団の武田軍が、訓練により組織力や技術を高めたところで、
やはり ” **最新の武器** ” 鉄 砲 を使う、織田軍の前では勝ち目がない.....

こちらに対抗しなくては.....

企業においての ” **最新の武器** ” ” **最先端の道具** ” を社員に持たせる.....

経営者として、悩ましい...

大企業と、規模や資力金をベースに、武器や道具を創造しても、意味がない。

最新鋭のPCやソフトが..... ちよつと違うような

新しい武器や道具とは、世の中から見ても、まったく新しい武器や道具である必要はない！！

まずは、その人、その社員にとって、新しい道具であることや、
その業務において、新しい武器であることだろう！！



ひとつの例としては『情報の共有』や『必要な情報量』の提供
といったことでもあろう。

日本企業、当然弊社もそうだが『情報共有化』が進まない。

何故だか.....??

【そもそも】

そもそも、日本の企業は ” 団体戦 ” が得意だった！！

『人は石垣、人は城』と歌うときの『人』とは、
個々の人間ではなく、『組織』を表している。

” 組織あつての個人 ”

個人が集まっての組織ではなかったようだ。

団体戦の象徴に『朝礼』や『社歌』さらには『企業の運動会』や『社宅』

欧米の企業で朝礼し、社歌を歌う企業など.....
ないことはないと思うが.....???

【個性】

ゆとり教育を導入したあたりだろうか？
『個性』の大切さが唱えられ、個人が尊ばれた。

厳しい就職活動を勝ちぬぎ、やっと入社した大企業を
数ヶ月であっさり辞めてしまって、フリーターになっても、
これも ” 個性 ” と、侮りはない！！

勿論、それはそれで良いとは思うのだが.....

そんな世間の風潮に呼応して、企業は派遣労働を手軽に利用するようになり.....

正社員は『組織』の一員！！

派遣社員は『組織』の一員では.....

いや、さらに『個人』としても認められているのだろうか？

簡単に取り替えが利く、必要な時だけ.....

派遣が増えると、企業が養ってきた『技術力』や『風土』といったものを、伝承
する力は、間違いなく衰える。

バラバラの社員は、個人としては、力を発揮できても、
”組織力の点では、当然劣る”



【孫子】

孫子の言葉

『善く戦う者は、これを勢に求めて、人に責(もと)めず』

戦上手は、組織としての勢いを重視する。

個人の能力は、勘定に入れない。

全体の勢いに乗れば、兵は坂を転がる 石や丸太 のように
加速度を増し、力を発揮する。

石や丸太は、平らな地面では動かない。
坂道なら動く！！

動かすのは、最初の弾みであり、それに続く勢いである！！ と、

” 組 織 の 勢 い ”

これも ” 最先端の武器 ” なのかもしれない??

【猛省】

何だか、纏りののない話....反省

発展途上の経営者のひとり 悔みは尽きない....

” 時代に負けない、強い組織！！ 強い会社を目指して！！ ”

すみません...

誰か、最先端の頭脳、貸して下さい！！

リスク

更新を毎週末にと続けておりましたが、
柄にもなく仕事と用事に追われる毎日...

3月の年度末から、日々あれこれと
社員面接、方針会、海外出張などなど盛り沢山！！

能力の低い自分には、かなり厄介で、 **強敵！！**

しばらく続きそうだ..... とても幸せなことです！！

そんな言い訳をさせて頂き、勝手に御了承いただいたとして
ここ数回は、短編での更新とさせていただきます???

【海外】

先週、仕事で北京に (その時の話は、別の機会に)

海外に行くとなると、その国の "ルール" や、
最低限、気を付けなければならないことなど調べておく。

先日もニュースで話題になったが、
中国で麻薬の所持で逮捕された日本人が、死刑になった。

日本では、考えられない 重罪.....
(中国は、アヘン戦争の歴史から麻薬には、特に厳しい)

その国の文化や風習の違い、歴史的背景により、
日本人にとって、**予想外のリスクが内包している。**

かと言って、気にしすぎても、折角の海外出張がつまらなくなる。

【GSP】

グローバル・ストレス・ポイント (GSP) って知ってます？

オックスフォード・アナリティカという、
イギリスのオックスフォードに拠点を置く、
情報分析・コンサルティングを行う企業が発行している
『**デイリー・ブリーフ**』 に掲載されている指標で、

” 紛争など海外のさまざまな リスク項目 の脅威を測る目安で、
リスク項目が起こった場合の『**衝撃の度合い**』と、1年以内に
現実化する可能性を数値化した『**緊張の強さ**』で表している ”
(数値は最高で『+50』、最低『-50』で表示)

日々変化する世界情勢に連動し、
1週間でもその『**緊張の強さ**』に変化がある。



直近のグローバル・ストレス・ポイント(は、以下のようになっている。
(リスク項目の次が、『衝撃の度合い』)

1. ドルの崩壊 (最高)	-32
2. インターネットの崩壊 (最高)	-5
3. 中国と台湾の軍事衝突 (高い)	-37
4. イスラエルによるイラン攻撃 (高い)	-13
5. インフルエンザの人への大感染 (高い)	+10
6. 原油価格の急変 (中程度)	-2
7. メキシコの政権崩壊 (中程度)	-20
8. 保護主義の再燃 (中程度)	-2
9. 中南米政府の石油ガス部門への介入 (中程度)	+27
10. イラクの政権崩壊 (中程度)	-10
11. ロシアの対外的軍事行動 (中程度)	-10
12. ユーロからの主要国離脱 (中程度)	-14
13. ナイジェリア沖合油田への攻撃 (中程度)	+16
14. インドとパキスタンの軍事衝突 (中程度)	0
15. パキスタンの政権崩壊 (中程度)	+12
16. 温暖化規制の厳格化 (中程度)	+16
17. アルゼンチンの公的債務の不履行 (中程度)	+12
18. 北朝鮮の軍事対立 (中程度)	+15
19. アフリカの各地域の紛争 (中程度)	+15
20. レバノン内戦 (中程度)	-17
21. イスラム武装勢力による大規模攻撃 (中程度)	+27
22. 中央アジアでの大規模な混乱 (低い)	+21
23. バルカン半島諸国の混乱再発 (低い)	+15

全ての項目でコラムが書けそうだ！！

【リスク】

世界情勢にかかわる リスク

世界経済にあたる リスク

日本経済に.....

会社経営に.....

個人生活に.....

大なり小なり、至る所にリスクがある。

経営者は常日頃、リスクを考え、リスクと戦う。

正に ” 宿命の対決 ”

ただし、気を付けなくてはならないのは、” リスクを恐れ、戦いを避けること ”

つまり、 **挑戦しないこと！！**

これだけだ、やってはいけない。

” 行動しない、前に進まない、考えない ”

これこそ、経営者にとって最大のリスクと感じ、注意しなくてはならない。

世の中の流れや変化に対応し、日々 ”適切な判断”、”真摯な態度” で望みたいものだ！！

時折、海外に行くことは、とても良い刺激になる。

” よし！！今年は、コラムの取材目的で、世界各地に！！ ”

これ、間違いなく ” 現実逃避 ” という リスク.....

タックス・ヘイヴン

今年も、何と言っても **異常気象！！**

四月もえらく寒い日が続き、”雪”が降ったと思えば
今度は”夏日”と、身体にこたえる。

これから夏に向け、台風は大丈夫だろうか？
とてつもなく大型な台風上陸など、勘弁してほしいものだ。

大型台風が来ると、時折起こってしまう 『座礁』

座礁してしまった船の所有者は？？

所有しているのは、**日本の会社**
しかし、船籍は、『**パナマ船籍**』

何故??

【船籍】

国民一人一人に戸籍があるように、船舶には『**船籍**』と呼ばれる登録がある。

日本の海運企業が保有する外航商船のうち、**約7割**が『**パナマ船籍**』

パナマという国は、人口約300万人。

世界の人口65億人のわずか**0.05%**にすぎないが
パナマ船籍を持つ商船は、**世界中の船舶の20%！！**

すごい！！

答えは簡単！！

船主に税金が課せられないこと。

船舶登録料はかかるものの、収支に応じた法人税はかからず、収支の報告義務も無し、
さらに、安全基準や船員の構成などの面で、自分の国より基準の低い国に便宜的に船籍を置く
企業が増えたのが原因...

【タックス・ヘイヴン】

タックス・ヘイヴンとは、一定の課税が著しく軽減、ないしは完全に免除される国や地域のこと。

和訳による呼称『**租税回避地**』

先日新聞に

日本法人・個人による海外への直接投資残高

が載っていた。

(2008年末、日銀調べ)

1位は、アメリカ	20兆4584億円	当然！！
2位、オランダ	6兆5157億円	えっ そうなんだ！！
3位 ケイマン諸島	5兆5550億円	WHY！！

ちなみに、以下、中国、イギリス、タイ、シンガポール

上場企業の有価証券報告書などを見ると、日本企業に投資する多数の

ケイマンファンドの存在

が確認出来る。

日本からケイマンへ！！そしてケイマンから日本へ流れる巨額の資金.....



【認定】

タックス・ヘイヴンと認定される国や地域として、
モナコ公国、サンマリノ共和国、バミューダ諸島、パナマ、バージンを諸島、ケイマン諸島、マカオ、香港、シンガポールなど.....

これらの国や地域は、そのほとんどが自国の産業を持たない、極めて小さな国々。
何もしないでいると衰退していくだけの弱小国なので、税金をゼロにするという強引な手法で、外国企業や大富豪達の資産を集めて国土を潤そうとする。

そんなタックス・ヘイヴンは、世界の先進諸国にとってみれば “非常に厄介な存在！！”

大企業や富裕層などの資金が、本国からタックス・ヘイヴンに流出すれば、当然ながら、**税収は減ってしまう。**

本来、国庫に収められるべきお金が、タックス・ヘイヴンによって消えている。

何とその総額は、世界全体で実に

6兆ドル近く

とてつもない.....

日本と経済規模が近いドイツでは...

7750億ドル(約70兆円)が税の徴収を逃れて国外に逃避していると独連邦銀行は試算している。

一説によると

世界貿易の60%は、タックス・ヘイヴンを経て行われ、個人試算額で見れば、
11.5兆ドル(約1050兆円)もお金がタックス・ヘイヴンにあると

さらに、

世界の金融資産の半分がタックス・ヘイヴンにあるという説まであり、その額は、はっきりわからない。

国家財政に大打撃を与えている

“タックス・ヘイヴン”

【不況】

リーマンショックによる景気低迷で税収減に見舞われた先進諸国は、国際会議でタックス・ヘイヴンを問題視し、**情報提供、透明化を強く求めた。**

その結果、日本からの投資額3位の **英領ケイマン諸島からの日本の納税者に関する情報**の入手が可能になった。

(今年4月から)

これは、タックス・ヘイヴンが国税庁への情報提供に応じるのは初めてで、**新たな脱税マネー**が発見される可能性が高い。

入手出来る情報は、所得税、法人税、相続税、贈与税に関するものであれば、金融機関の口座内容やファンドの出資者など、対象に制限はないそうだ。(かなり踏み込んでいいる。)

だが一方で、頑なに情報提供に応じないタックス・ヘイヴンも未だ多く残っている。

(リベリア、マーシャル諸島、コスタリカ、フィリピン、ウルグアイ他)

そのような国に脱税マネーが流れれば、効果は薄れてしまう。

タックス・ヘイヴンを使った脱税は、知識やノウハウを持つ者だけが義務を免れる行為で、税の公平性を大きく損なう。

国際ルールの構築がなされなければ、今後も資金は流れていくのだろう。

国内の問題ひとつ解決出来ない今の政府に、**“国際ルール”**って。

当然、無理ですね！！

事業仕分けより**“はるかに効果的な税収アップ”**につながると思うのだが.....

まあ、隠したくても隠す資金がない自分には.....

若い

英国で新政権が誕生した！！

第1党となった保守党のキャメロン党首が、**新しい首相**に就任した。

単独過半数を獲得出来ず、第3党の自民党との連立政権... (これは、戦後初)
中道右派の保守党と中道左派の自民党という異色の組合せ。
それ故か、自民党のクレグ党首が**副首相**に就任

2大政党制 (保守党と労働党) が長く続いていたイギリスでは、
” 異例の連立政権 ” 支持する層が違うだけでなく、外交、防衛政策でも大きな隔たりがあり、
マニフェストの違いを乗り越え、上手くいくかは まさに ” 未知数 ”
最大の課題である。

” 財政赤字 ” についても、いつどのように削減するのか？ どうするのが正しい方策なのか？
政党間で大きく意見が分かれている為、 **かじ取りは困難を極めるのでは……**

路線の違いが明確になれば、連立政権は……**短命**？？

どこかの国とそっくり！！

更に保守党のマニフェストでは

” **環境分野で経済を再生させる** ” と

どこまでも似ている……

【若い】

ただ一つ、大きく違う点がある！！

キャメロン首相	43歳7ヶ月
クレグ副首相	43歳4ヶ月

若い！！

ちなみに、鳩山総理 63歳 (現在)

もう少し……日本で最年少で首相になったのは『安倍晋三』で52歳 (Mr. 無責任)
最年長は、73歳と26日で就任した『幣原喜重郎』
(良く知りません！！戦後2人目の首相だそうです)

平均年齢は、**63.6歳！！** (鳩山さん、ストライク！！)

民間企業なら ” 定年退職している年齢 ”
世界的に見ても日本の首相は高年齢とのこと。

長寿国だから？？

もう少し若い人にならないのだろうか……

” 安倍さん、アンタの罪は重いよ！！ ”

【出来る？】

キャメロン首相と自分は、**1歳違い**……

万一、自分が来年、『日本の首相』になったら (考えるのは自由です！！)

出来ることあるのか……？？

(以前、キムタクがドラマでその様な役を演じていたが)

まず何からすれば良いのか……？？

とりあえず、”オバマ大統領” に電話する？
引越しの準備とか？？
首相に不可欠な知識等の勉強、重要な儀典のマナー……？？

” 国のこと考える前に、自分のことで手一杯になりそうだ ”

日本での『首相』という**“役 職” ……職業**？？



『企業の社長さん』と何が違う??

国民の為に……お客様の為に
マニフェスト……事業計画
国会……役員会
支持率……銀行の評価 (お金を借りるのに重要)
選挙……株主総会 (ちょっと違うか)

何だか優秀な社長さんでも出来そうな……

【優秀】

数ヶ月前、“トヨタ自動車”はアメリカのリコール問題で窮地に立たされた。
議会で社長本人が謝罪し、議員からの厳しい質問に対し、直接答えていた。

会社存続、信頼回復の為に “トップ自らが先頭に立ち、行動する”……当然、あたり前だ。

前年まで “自動車メーカーの世界NO. 1企業” で、
過去最高益の 2兆2000億円の利益 を上げていた企業が、翌年には1500億円の赤字になる。

更に様々な問題発生と……ちょっとしたことで大きく会社の状況が変わってしまう。

経営者(社長)は日々、次のことを考えながら、行動しなくてはならない。

先日、トヨタの決算が、“赤字から黒字に”なったと!!
徹底した『コスト削減』が、功を奏したようだ!!

速い!!

あれだけの世界企業が信頼回復、業績回復の為、“一致団結”して行動しなくては、当然ありえない結果だ。

それに較べ “日本の政治は”

【チェンジ】

全てが “遅い”

何かひとつ進めるにもえらく時間がかかる。

『首相と社長』『経営者と政治家』何が??

会社は、1年に1度『決算』がある。
それに向け、経営者と社員は 一丸となって働く!!

その成果、結果がはっきりと出る!!

政治家は……?

毎年、選挙をやる訳にはないが、実績をきちんと評価する必要がある。

ただ、それには “議員が多すぎる” (自分の町に何人の市議員がいますか?)

徹底したコスト削減が必要な『日本』

長い歴史で、やけ太りした『官僚社会』

政治家には、これ以上のコストカットは出来ない!!

日本には世界的に優秀な企業、経営者がいる!!
一方、政治は三流以下……

是非、日本が誇る “一流の経営者” に “日本国の経営” をまかせて見たい。

どん底の財政状態を脱する為には、一刻も早く対応しなくては……

“アラフォーで 首相!!”

これが現実になる日は、くるのだろうか??

期待したい!! (その時いつになっているのだろうか?? 不安だ…)